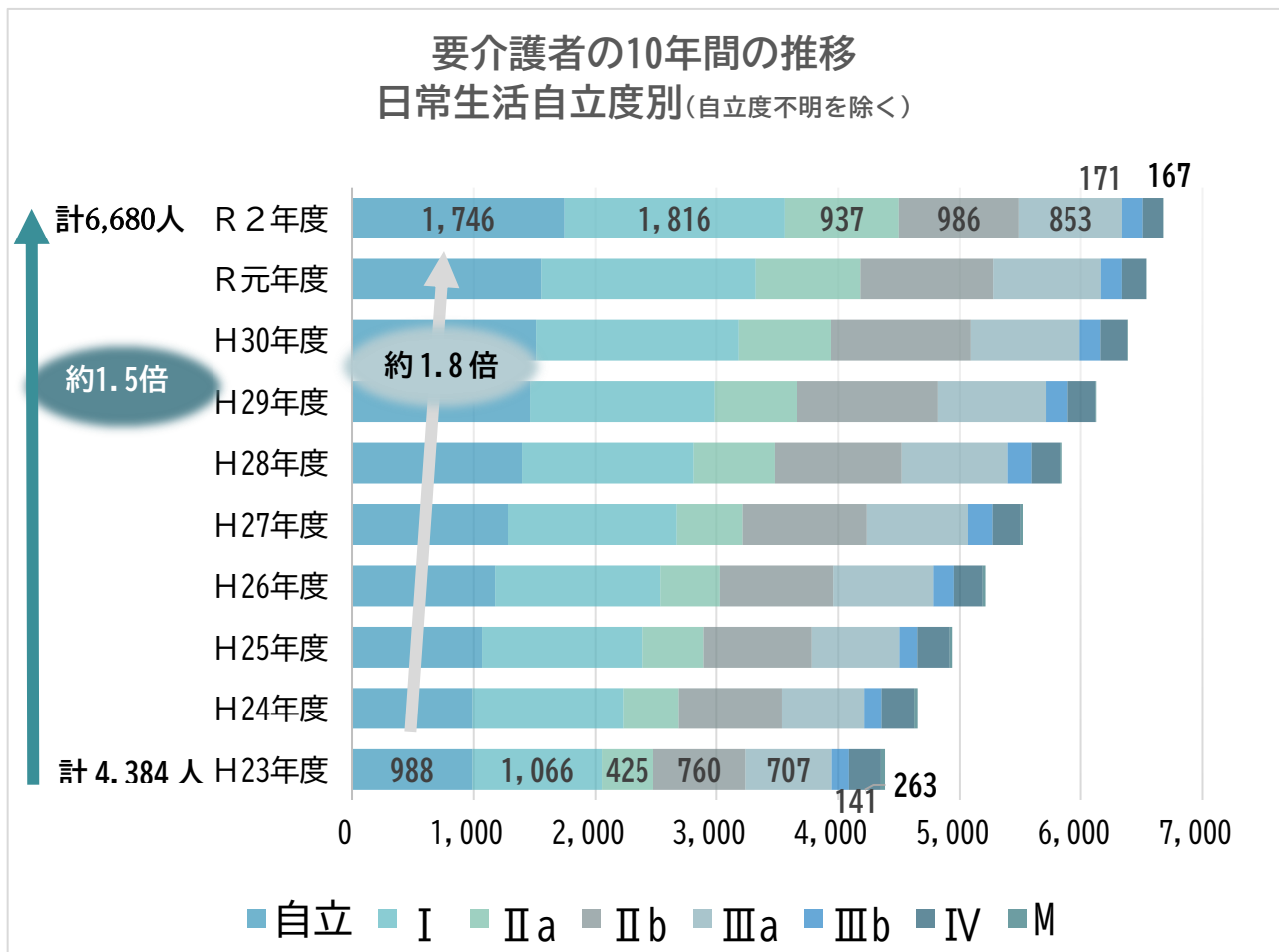


資料Ⅰ 住み慣れた家で暮らし続けられるまちに

A) 認知症高齢者の認知症自立度(日常生活自立度)結果

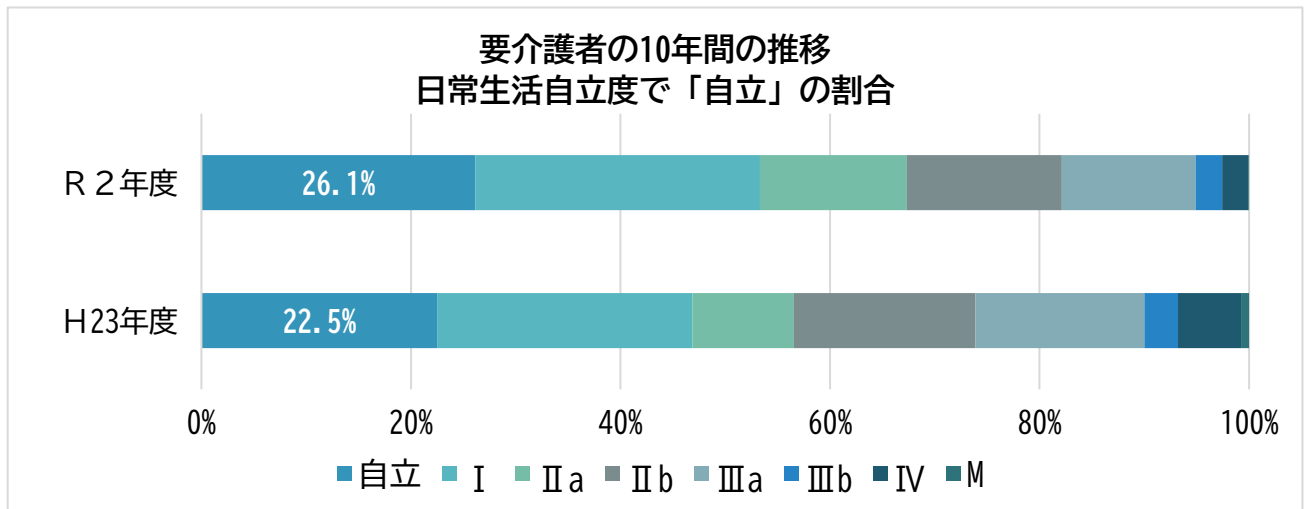
I		何らかの認知症を有するが、日常生活に必要な意思疎通はできる。ほぼ自立している。
II	a	日常生活に必要な意思疎通の困難さが多少みられる(家庭外でみられる)が、誰かが注意していれば自立できる。
	b	日常生活に必要な意思疎通の困難さが多少みられる(家庭内でみられる)が、誰かが注意していれば自立できる。
III	a	日常生活に必要な意思疎通の困難さがみられる(日中を中心に症状がみられる)着替え、食事、排泄などの介護が必要な状態
	b	日常生活に必要な意思疎通の困難さがみられる(夜間を中心に症状がみられる)着替え、食事、排泄などの介護が必要な状態
IV		日常生活に必要な意思疎通の困難さが頻繁にみられる。常に介護が必要な状態
M		著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、日常生活に必要な意思疎通ができない、または、まれにしかできない。在宅での生活ができず、専門医療の必要な状態

B) 要介護者を認知症自立度別に表した10年間の経年推移

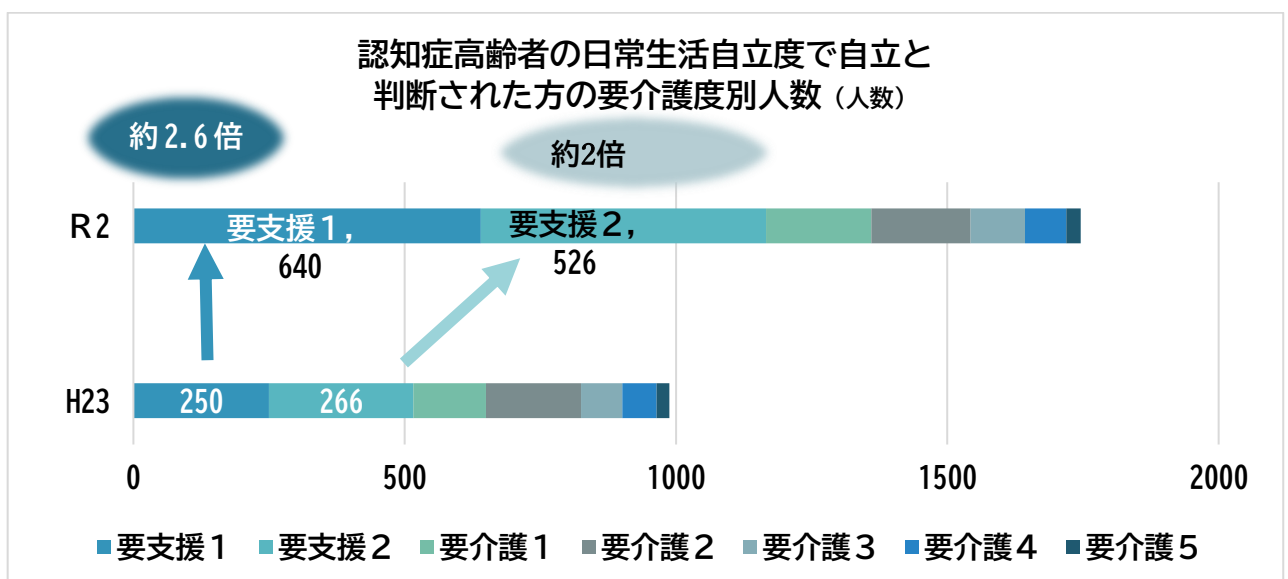


資料Ⅰ 住み慣れた家で暮らし続けられるまちに

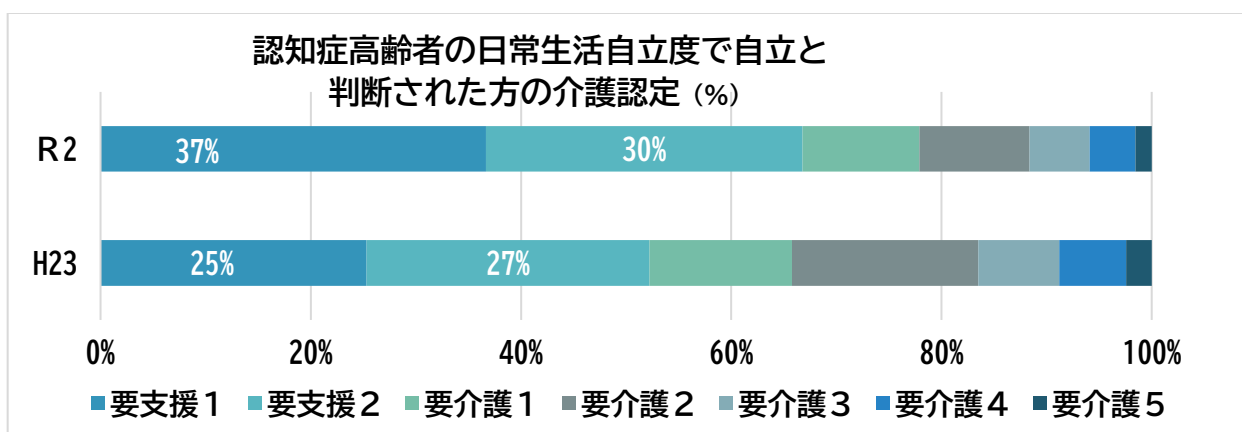
C) 介護認定を受け、「自立」と判断された方の割合



D) 日常生活自立度で「自立」と判断された方を要介護度別の人数をみる

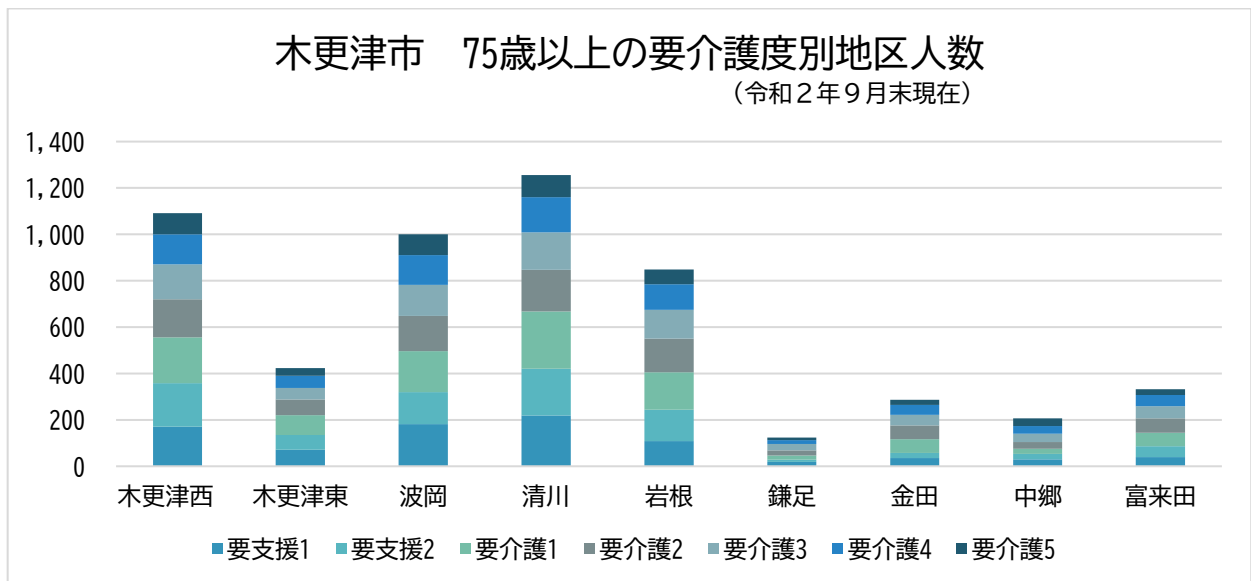


E) 日常生活自立度で「自立」と判断された方を要介護度別の割合をみる

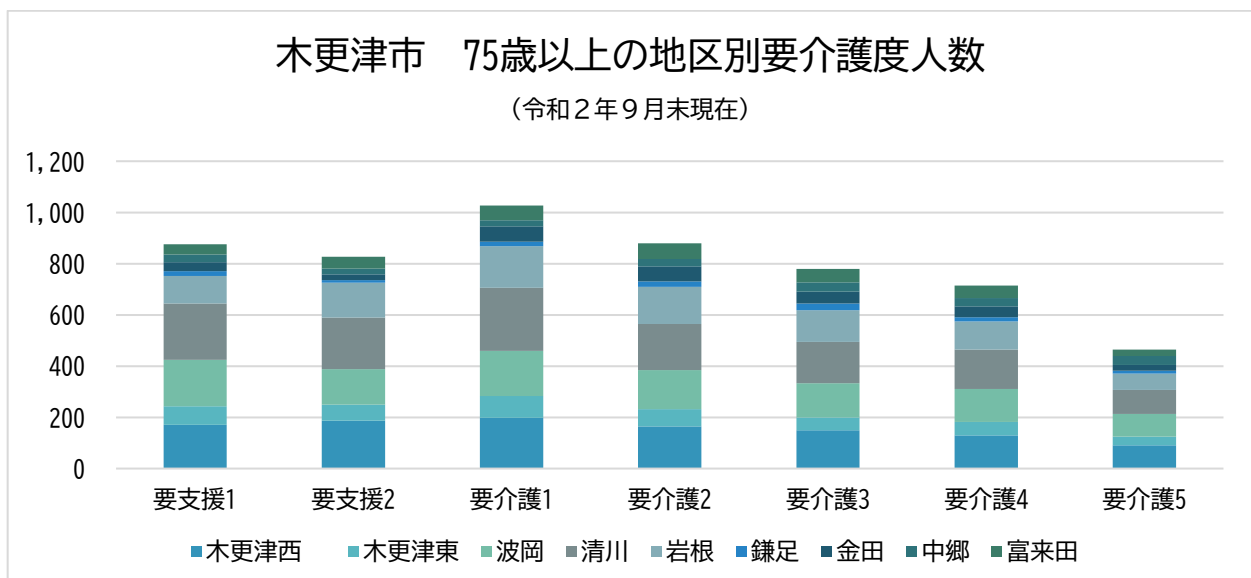


資料Ⅰ 住み慣れた家で暮らし続けられるまちに

F) 木更津市の要介護認定を受けた75歳以上の高齢者はどの地区に多く住んでいるか

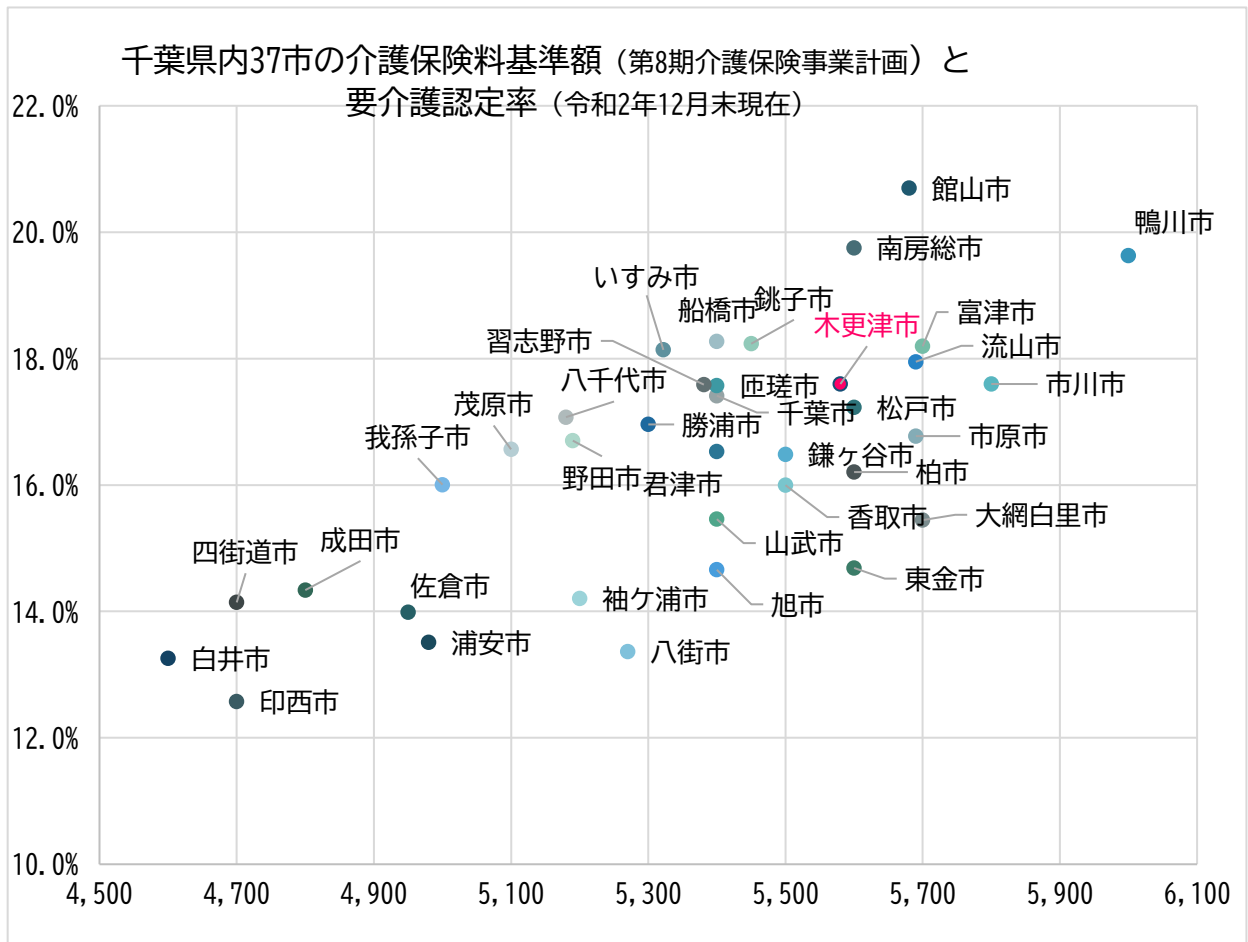


G) 木更津市の要介護認定を受けた75歳以上の高齢者は「要介護1」が多い

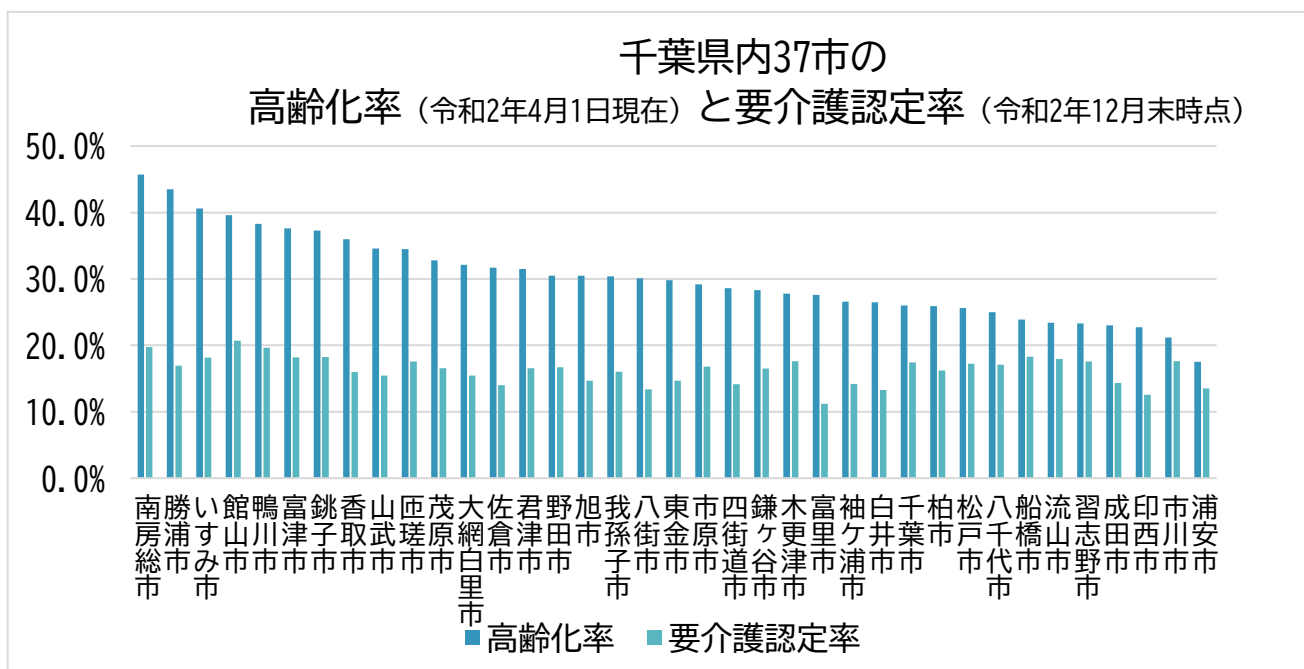


資料 I 住み慣れた家で暮らし続けられるまちに

H) 千葉県内 37 市の介護保険料基準額と要介護認定率の比較



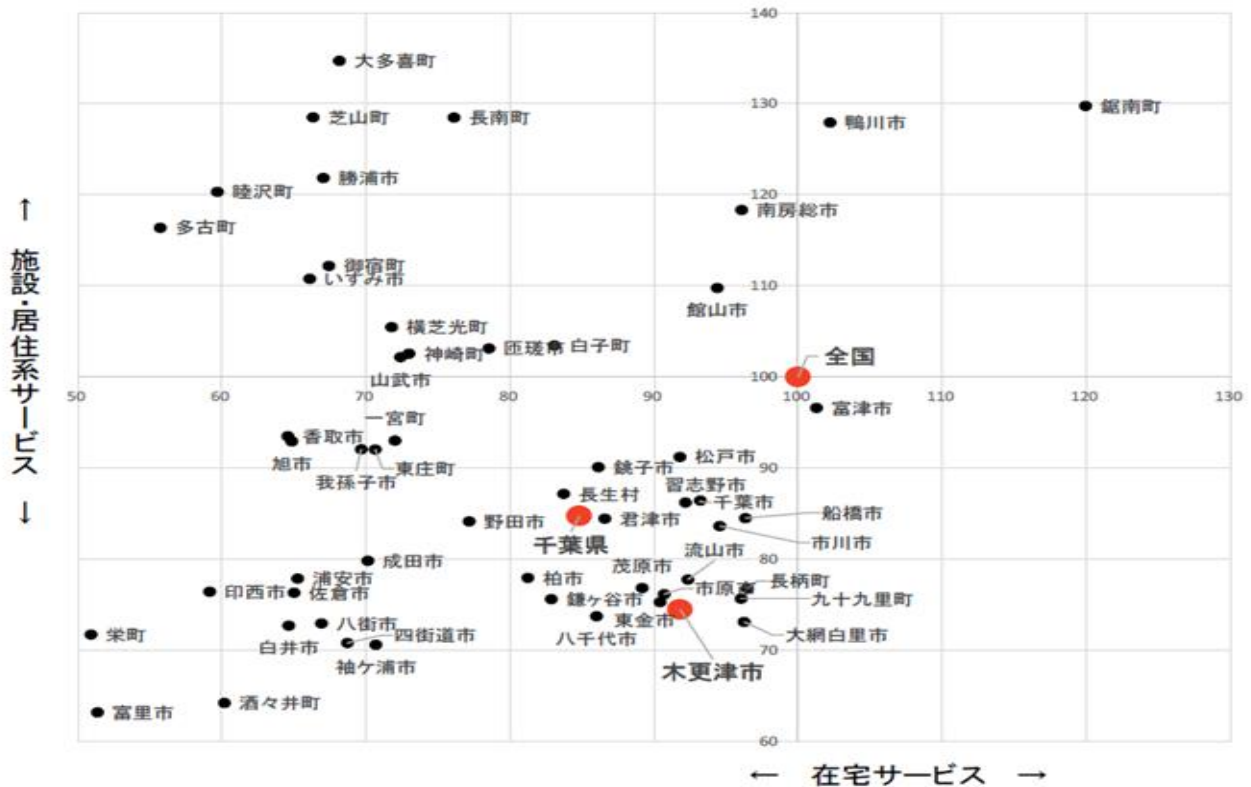
I) 県内 37 市の高齢化率と要介護認定率を比較



資料Ⅰ 住み慣れた家で暮らし続けられるまちに

J) 在宅サービス、施設・居住系サービスの給付指数の比較

出典 木更津市高齢者保健福祉計画 第8期介護保険事業計画



図表3-3-3 在宅サービス、施設・居住系サービスの給付指数の比較（第1号被保険者一人当たり）
（全国100、千葉県、千葉県内37市）

【木更津市】

- ・在宅サービス指数=91.8
- ・施設・居住系サービス指数=74.5